

参加者 中川武、加古博昭(ホスト)、石塚丈晴(コホスト)、小泉博明(記 小泉博明)



卓話者プロフィール

吉田健司(よしだ けんじ)
 経歴:1950年生まれ
 岐阜県出身
 早稲田大学大学院理工学研究科卒
 旭化成(株)入社
 米国イリノイ大学でMBA取得
 淑徳大学(経営学部)および大学院 教授
 現在、(一社)寺子屋カレッジ 代表理事

著書:「即戦力が身につく!最強のMBAバイブル」(PHP研究所)
 「実践!MBAトレーニング中国ビジネスのケーススタディ」(PHP研究所)
 「論の経営学、倫の経営学」(帝京大学出版会)



卓話者 吉田健司様



4クラブ合同例会

「論と倫、そして時代追尾の経営学」

まず、2023年12月に上梓しました拙著『論の経営学、倫の経営学』(帝京新書)をもとに、「論と倫」、すなわち西洋型の“論理”中心の経営術と、日本の渋沢栄一に象徴される“倫理”中心の経営道とを、バランスよく学ぶことの重要性を私見として述べました。言うなれば、左脳(アタマ)=論理、右脳(ココロ)=倫理という「和魂洋才」型の経営学を提唱し、これを私は「あんパン経営学」と名付けております。

ところで、私たちが日常的に使っている「経営」という言葉の語源が仏教用語にあることをご存じでしょうか。「経」は織物のタテ糸を指し、変えてはならない普遍の知識や真理を表します。一方、「営」はヨコ糸であり、時代とともに変化すべき行動や生活様式を意味しています。

ここで、ヨコ糸にあたるのが、私が新たに提唱する時代適応型の「近みらい経営学」です。これは、時事ニュースを素材に、環境や時代の変化に敏感な経営的視座を養うための“月次定点観測”の手法であり、“生き物”としての経営学を学ぶ取り組みです。

講演中にはアンケート形式のクイズも実施し、ご自身の「ゆでガエル度」を確認していただきました。最後に、「経営」の本質について、中国・陽明学の「知行合一(ちこうごういつ)」に触れつつ、さきやかなオヤジギャグで締めくくらせていただきました。

Rotary 東京池袋豊島東ロータリークラブ 合併号 3078・79回 第32・33回例会 2025/5/22

Weekly Report



会長:佐藤久雄 幹事:高木義男 RI会長:ステファニーA.アーチック 第2580地区ガバナー:石川彌八郎

【名著を読む】

宮沢賢治

『狼(おいの)森と箕森、盗(ぬすと)森』

日本の民話はアニミズムの伝統があり、賢治の童話にも、多くの動物や植物が生きて登場し、自然と動物との共生の観点がある。本書では、男たちが森に囲まれた原野を開拓するために、大声で「ここへ畑起こしてもいいかあ」と叫ぶと、森が一齐に「いいぞお」と応えるのである。(小泉博明)

本日の例会

5月22日(木)12:30~13:30

卓話:「私にできる心と身体のケア」

卓話者:天沼幸子様

紹介者:佐藤美枝子会員

次回の例会

6月5日(木)12:30~13:30

卓話:「帯バッグ、ニューヨークで輝く~今だからこそ大切にしたい日本の着物文化~」

卓話者:藤代瞳子様

紹介者:佐藤美枝子会員

4月17日 例会報告

司会 長尾会員
 開会点鐘 佐藤会長
 ロータリーソング・君が代
 ソングリーダー 加古会員

会員総数 33名
 出席規定適用者数 27名
 本日の出席者総数 6名
 // 免除者出席数 27名
 本日の出席率 81.81%

ゲスト
 棚川 恵温様 青少年交換派遣予定学生

会長報告

1 地区大会報告 出席者16名

幹事報告

- 1 国際ロータリー為替レート 5月 142円/\$
- 2 2月末に発生した岩手県大船渡市の山林火災被害に対する寄付金が、2580地区全体で320万円集まり大船渡へ送金されました。当クラブからも5万円寄附しています。



5月お誕生日会員
 大野会員・鈴木会員・稲川会員・森川会員



皆出席
 38年 中川会員 26年 廣内会員

5月

受付:吉田武輝会員・石川宜司会員・大野匡也会員・豊田高輔会員
 司会:長尾益男会員・佐藤美枝子会員 ニコニコ:吉田武輝会員
 写真:横山晴夫会員 ソングリーダー:小泉博明会員



ニコニコ

- 佐藤(久)会員 久々に天皇賞取りましたのでニコニコします。
- 鈴木会員 やっと83才になりました。まだ親の年にはなりません、多くの友人がなくなっている今両親に感謝せざるを得ません。皆様にとっても健康第一を！
- 稲川会員 お誕生日ありがとうございます。
- 中川会員 38年ずいぶん長く在籍しました。年も80才になりました。いつまでもストレッチが続けられるか心配です！これからも宜しくお願いします。
- 小泉会員 「関税で脅かすトランプジョーカーに」柳壇にのりました。
- 森川会員 お誕生日ありがとう。5月から後期高齢者です。後15年は頑張ります。
- 廣内会員 26年間皆出席祝い、有難うございました。幼稚園時からずっと皆出席、皆様健康に気をつけましよう！
- 佐藤(美)会員 Cグループホームミーティングの残金+αをニコニコします。有意義な会でした。
- 大野会員 5月14日で83才になります。元気で生きていることに感謝です。
- 本日の合計額:40,000円
今年度ニコニコ累計額:441,000円
今年度指定ニコニコ累計額:43,480円
12/19例会オークション合計額:47,000円

第11回理事会報告

日時 2025年5月8日(木)11時~12時
議題

報告事項

- 1) 会計報告:別紙のとおり報告
- 2) 国際ロータリー為替レート:142円/\$
- 3) 5-6月例会予定及び卓話・ゲスト予定確認
- 4) 合同例会準備:参加予定者84名
- 5) 週報内製化試行
4月第2例会分を内製済み、引き続き5・6月内製し継続可否を判断する

- 6) その他
・岩手県大船渡市で発生した林野火災に2580地区から(含当クラブ5万円)320万円を寄付
・当クラブホームページに定款・細則を掲載

審議事項

- 1) わーどダンスフェスティバルの協賛について
としまこども音楽フェスティバルで提供した菓子セットの残りを提供し協賛する
- 2) 財務規定等の確認
・財務規定等は改定歴等一部を修正し次回理事会に再提示する
・会長代行順位は細則本文にて改定予定
- 3) 次年度会費徴収について:細則に従い、次年度前期会費を6月末までに徴収する
- 4) その他
・国際RC決議審議会にかける制定案は、各理事にて事前確認し次回理事会で審議
・バギオ基金について、改めて会員に説明する機会を設け今後の方針を決定
・豊島新聞阿部氏への御見舞い金について、慶弔規定に基づき会長判断とする

青少年フォーラム



青少年奉仕委員会 細田新子委員長

インターアクトクラブとは

インターアクトクラブとは12~18歳を対象に、学校をベースとして活動しています。「インターアクター」と呼ばれるインターアクトクラブ会員は少なくとも月2回ミーティングを開き、文化祭でのチャリティや学校周辺の清掃、あしなが育英基金の募金や赤十字の献血の呼びかけお手伝いなど地域にてボランティア活動を行っています。また、当地区では国際理解の一環として、インターアクトクラブ合同にて東京にある中華学校の春節祭への見学もあります。当地区は東京北部と沖縄にて構成されていることから、東京と沖縄のインターアクターの交流、意見交換も行われています。

ロータリーアクトクラブとは

ロータリークラブの提唱のもと、18歳以上の若者で構成されている団体です。奉仕活動や親睦活動を通じて、会員一人一人がリーダーシップや企画力など、社会で活躍できる技能を身につけることを目的としています。

現在、国際ロータリー第2580地区ロータリーアクトクラブには東京北部・沖縄の15のクラブが所属しています。地理的に離れた二つの都県で構成されていますが、お互いに行き来を行い、活発な交流を行っています。活動内容は、地域の清掃や復興支援といった奉仕活動、バーベキューや合宿などの懇親活動の他、ロータリークラブの会員の方のお話を伺ったり工場を見学させていただいたり多岐にわたり、会員の興味のあることをすくい上げ、実現する機会に溢れています。ロータリーアクトクラブに所属することで世代や所属を超えた友情を育み、幅広い交流を通じて、視野を広げることができます。入会に当たり必要資格はなく、どなたでも気軽にご参加いただけます。

青少年交換プログラムとは

全国200以上の国と地域に34,000以上のロータリークラブが設立され、およそ120万人ものメンバーが地域あるいは国境を越えて奉仕活動に従事しています。その一環として、15歳から18歳の中学生、高校生を海外のロータリークラブに派遣し、1年間の学校生活を送る青少年交換プログラムがあります。留学生は派遣先の、ごく普通の家庭にホームステイしながら学校へ通い、家族の、そしてその街の一員として過ごします。高校生のあなたには、家庭、学校での生活を通じて「小さな親善大使」を務めてほしいのです。また派遣先では、その国に世界各国からやってきたロータリー青少年交換留学生同士の交流も行われています。派遣先は日本はおろか、英語の通じる国ばかりではありません。しかし高校生の柔軟な精神ならば、その困難を乗り越えてすばらしい友達を世界中に作る事ができます。



青少年奉仕委員会 加古博昭副委員長



頑張ってるね

青少年交換派遣予定学生 棚川恵温君
ベルギーへ派遣

当クラブから寄贈したブレザーを羽織って

RYLAとは

ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)は、14~30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムです。クラブ、地区、または多地区合同で運営され、参加者が新しいスキルを学びながら、地域社会と関わり、個人的・職業的に成長できる機会となります。



次年度地区RYLA委員会 小泉博明委員

第2回ホームミーティング

Dグループホームミーティング報告

4月28日(月)18時から、加古博昭会員の紹介で、会員制クラブのエスカイアクラブ池袋にて開催した。とくにテーマを設けなかったが、少人数なので、日頃のロータリークラブの現状や課題について議論を交わした。会員増強については妙案が浮かばなかったが、親睦と奉仕を両輪に、我がクラブの魅力を発信することの重要性を確認した。スタッフの素晴らしいおもてなしで、フルコースを堪能し、美酒に酔いしれた。場内は撮影NGなので、入口にて集合写真を撮った。